

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	株式会社 コアラ
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>1. 光にこだわらず、初期費用が安い ADSL 等で先ずは行うべき。現実的であるべき。 ただし、その際、全国一律の NTT の設備借用料ではなく、ルーラルエリアの安い土地代などを積極的に反映させた、借用料金等を適用させ、地方の運用効率を上げられるよう指導して欲しい。 そのような光に頼らない安価な技術開発の支援を。</p> <p>2. 光に頼ると、結果的に、NTT や公的資金が投入されている地方 CATV 事業者に、更なる追加の国家支援となりかねず、他の事業者と不公平な扱いとなりかねない。</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p>1. ある程度の低料金は必要だが、競争を、国を挙げて低料金化を煽ることで、「全国一律の安価・大量生産型・東京一興支配型のチープなブロードバンド」が普及することによる“地方ネット文化の消失”を懸念します。 ネットは、地方から発信できる数少ないメディアですが、それを地方の声、弱者の声が反映されにくい形態で、東京の大手会社が一方的にコントロールされると、全国が画一的なネット文化になりかねません。 以前は、地方の ISP がネット文化の集結・発信拠点でしたが、そのような地域ネット文化が発展されやすい競争政策を求めます。 そのためにも、NTT 自体のサービスの低価格化を促し、その上の ISP やコンテンツサービスが成立しやすい政策を行い、かつ、東京と地方では何らかの仕組みで地方が生き活きとできるようなネット政策の工夫を。 (東京に比して地方の人口減少は顕著であり、そこで交流人口を増やそうと取り組んでいるが、そのためには、地方自体に多少のゆとりのあるネット発信力が必要)</p> <p>2. かといって、これ以上、地方の CATV 局に公的な支援を入れるのは反対。初期の CATV 建設費や ISP 関連設備費など、ほとんど公的な資金で作られており、これは公平だろうか？ さらに、テレビのデジタル化予算は、結局、地方の CATV 局に還流しており、今後のその運営費も、地方行政からある程度入り込むことが期待されるであろうが、これは公平だろう</p>

か？

CATV 事業者は、デジタル TV の中にネット事業を含んで全体としての採算性を見ながら地方行政と協調(?)すると思われ、ネット事業者には難しい存在。また、CATV 事業者は本質的にネット事業者ではなく、地方のネット文化の担い手の方向には向かわないようだ。

3. NTT は、まずは、電話加入権を返してから次のことを。一方的に、加入権を棒引き(?)して次の事業に取りかかるのはたいへんおかしい。

その間、子会社の NTT ドコモは、海外(米国)投資で1兆円の損失を上げるなど、まったく納得できない。まずは、加入権を返した後、次の段階に行くべき。

特に、ブロードバンドを立ち上げて来た初期の ISP 事業者 (NTT では無い)はたいへんな数の加入権を購入しているのであって、それを返却することが、少なからず公平な立ち位置に近づくのではないか？

4. NTT の規模大きくなれば世界と戦っていける日本を代表するネット企業(通信企業)になる、と、思われているようだが、そうだろうか？

ホントに世界に互する事業者になるのは、利用側に沿った社会システム(ユーズウェア)を考える力のある人材とそれを活かす組織によるのであって、ある意味、NTT をたくさん、小回りの効く、小企業に分割する方がよいのではないか？

統合されれば、その大組織の長はベンチャー力や、技術力が劣った峠を過ぎた(?)人材がトップとなり(かつ、毎年順送りでもその程度の人ばかりになる)、かつ、自らが利用者立場にはなり難い組織人達が NTT を率いるのであって、NTT ドコモの 1 兆円損失と同じ結果を産み出しかねない。

あるいは、過去、NTT と郵政省が JUST 手順通信を推進したが、我々市中人は無手順通信を推し進め、それが世界標準になったし、キャプテンに対してパソコン通信もそう、個人利用のポケット通信も NTT 製品はどうとう使えず、民側からのものが先に標準になったし、インターネットも NTT は当初取り組まず我々が先導。ADSL も我々が先導。ダークファイバー貸しも NTT は後塵を拝した。

そのような、企業が日本のトップ企業であることはちょっとキビシク言うようだが、日本の未来が危うく思える。

そのような判断を常に間違う組織を再度育てることになりかねない NTT 大規模化は、先祖返りであり、国益を損なうのではないだろうか？。

(ADSL の普及の歴史を見ればよくわかるのでは？ NTT が日本のブロードバンド進展を遅らせた大要因。したがって、アメリカや韓国に先にブロードバンド利用文化が育ち、日本はそ

	<p>れらを購入して使うという構図に陥ってしまった) 多くの独立した、自ら決することができる範囲の小企業に 分割すべきではないだろうか。</p>
--	--